

## 【イベントレポート】

令和 6 年度 東通村植樹祭に参加しました。

6 月 15 日（土）に電力会社や村民など約 100 名が参加して、東通村大字蒲野沢地内（蒲野沢共有林）で「令和 6 年度 東通村植樹祭」が東通村緑化推進委員会主催のもと、森林環境譲与税を活用し開催され、下北森林管理署から 3 名が参加をしました。

東通村緑化推進委員会会長である畑中村長の挨拶の後、下北森林管理署長から SDGs の 13 番目の目標である気候変動の対策、その中の地球温暖化対策となる森林の役割についてお話がありました。下北地域県民局農林水産部部長からは祝辞があり、最後に東通村森林組合の職員から苗木の植え方についての説明を聞き、植樹を始めました。

植樹では、鍬や剣先スコップを使って 30 センチほどの穴を掘りポット苗を穴に入れ、隙間に土を入れて植え付けをしました。樹種は、ミズナラやトチノキ、ヤマモミジといった広葉樹の苗木を参加者みんなで 1 本 1 本丁寧に植樹しました。植樹場所には、ササ等の根が絡み合っており、剣先スコップが刺さりにくく大変でした。

植樹祭は、地域住民と地元の森林に愛着を持っていただくきっかけとなる、大変貴重な機会だと思います。植樹した苗木が大きく成長し、豊かな森林に育ってほしいと期待しています。

